

教育事業個別報告書

事業名	子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「なすかしの森ファミリーフェスティバル」
趣 旨	なすかしの森を広く地域の方々に開放し、大自然の中での様々な活動を通して施設の理解を図るとともに、家庭教育支援の一助とする。
期 間	第1回：平成23年9月23日（金）～24日（土） 第2回：平成23年11月5日（土）～ 6日（日）
募集人員 (募集結果)	宿泊参加者：家族を中心とした一般の方300名 日帰り参加者：無制限 〔第1回：宿泊者 287名 日帰り 3,691名〕 〔第2回：宿泊者 116名 日帰り 643名〕

① 事業の特色

この事業は、家族を含む一般の方に当所のPR等を目的に、野外活動体験等を中心とした第1回と、文化体験等を中心とした第2回の計2回にわたる、いずれも1泊2日の日程で実施した事業である。

第1回目の事業内容は、初日に宿泊利用の家族を対象に複数のチャレンジ型アトラクションを体験する「ファミフェスカップ in なすかし」を実施し、2日目に屋外にポニー乗馬体験・イワナ掴み・ネイチャークラフト体験コーナー・手作りピザ体験等の各種体験ブースを設置し、参加者に体験活動を提供した。

第2回目の事業内容は、初日に体験活動部屋を3ヵ所として、語りの会による昔話・民話、腹話術・南京玉すだれ、アニメーション上映会を実施した。2日目は、初日と同様3ヵ所の活動部屋の他に、プレーホールにてフワフワスライダー・射的コーナー・竹馬体験・絵本作り等と、体験ブースを設け参加者に体験活動を提供した。



【会場の様子（第1回）】



【ポニー乗馬体験（第1回）】



【民話（第2回）】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- ・ 1回目の成果として、初日のプログラムを通し、各家族とも家族の絆を深め、家族間でも多くの交流ができた。2日目は多くの方に来所いただき、当所のPRを十分に行うことができたと共に、南相馬市のポニー牧場からの協力によるブース展開や地元福島県の「浪江やきそば」の出店や社会福祉法人鮫川たんぽぽの家の協力を得てうどんコーナーの出店・下郷町のりんご販売等を行うことにより、地域間の交流・活性化や東日本大震災からの復興の推進を行うこともできた。
- ・ 2回目の成果として、寒い時期での事業のため、屋内での活動となったが、各家族には笑顔があり家族間の交流もできた。2日目は日帰り参加の家族も多く、子どもたちも汗をかきながら屋内での体験活動を満喫していた。

<事業の課題>

- ・ 福島第一原発事故の影響により、福島県に所在する当所としては震災前に比べ県外の利用が減少傾向にある。そのため、関東圏にも広報を行い、関東圏の参加者が当所に足を運んでいただけるようなプログラムと、日頃思うように野外で遊べない県内の子どもたちや風評被害に苦しむ自治体の活性化に繋がるような地域をまきこんだプログラムを展開する事により、地域に根ざした施設として広くPRできるような事業を展開していきたい。